

健康ぷらざ

No.463

企画:日本医師会

子供のアザは消えるの？

アザは目に見えるだけに、本人も家族も気になるものです。茶アザや青アザ、黒アザの原因はメラニンという色素で、赤アザの原因は赤血球にあるヘモグロビンです。

最近ではレーザー治療が進歩し、アザの原因となる

色素のみに吸収されるレーザー光線を照射することで、

治療できるようになりました(写真1,2)。

すべてのアザではありませんが、

種類によっては傷跡も残らなくなりました。

また赤アザの一つ、乳児血管腫(いちご状血管腫)は、

レーザー照射で十分な効果が得られないことも

ありましたが、薬による新しい治療法も行われるよう

になりました(写真3,4)。

以前と違い、いまでは多くのアザが

ゼロ歳児から治療可能です。

これまで治療を諦めていた方や

お子さんのアザが気になるご家族の方は、

かかりつけの皮膚科医や小児科医にご相談ください。

●レーザーによるアザの治療例(生後1ヶ月)



写真1: 治療前



写真2: 治療後

●薬による乳児血管腫の治療



写真3: 治療前



写真4: 治療後

治療できるアザもあります

